

平成26年度公共事業再評価諮問地区「継続」理由書等

(課名： 道路課)

<p>事業名 (路河川等名)</p>	<p>道路整備交付金事業(防災・安全交付金) 主要地方道 小城富士線</p>
<p>継続理由</p>	<p>本路線は、平成29年(予定)に小城PAスマートインターチェンジ(仮称)が供用することにより、交通量の増加が見込まれている。</p> <p>当該箇所は、事業の必要性に変化が無く、現在も依然として交通の円滑化と交通安全の確保が出来ていないことから、引き続き事業を継続したい。</p>
<p>B/Cの 算出方法</p>	<p>【 便益 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 走行時間短縮便益 = 22.2 億円 ・ 走行費用短縮便益 = 1.3 億円 ・ 交通事故減少便益 = 0.5 億円 合計 = 24.0 億円 <p>【 費用 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業費 = 14.0 億円 ・ 維持修繕費 = 0.5 億円 合計 = 14.5 億円 <p>費用便益 B/C = 24.0 / 14.5 = 1.7</p>
<p>備考</p>	

平成26年度再評価対象事業
(対象：平成21年度再評価実施事業)

(再評価実施後、一定期間(5年)が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)

番号	項目	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済 情勢等の変化	費用対効果 の要因の変化	コスト削減や代替案 等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業案)
7	再評価 時点	地方特定道路整備事業 主要地方道 小城富士線 事業主体：県 事業地：小城市 小城町上町横町	本路線は小城市小城町の国道203号を起点として佐賀市富士町の国道323号に至る延長約16kmの主要道路である。 計画区間は岩松小学校の通学路に指定されており、また、当地区の通過先に清水の滝があり、観光客も多い。 しかしながら現況は、線形不良箇所や歩道が狭い区間や無い区間があり、非常に危険な状況となっている。 以上のことから、線形改良及び自転車歩行者道の整備により、交通の円滑化と交通安全の確保を図る。	全体事業費：12.0億円 工期：H12～H25 事業内容 延長 L=550m 幅員 W=16.0(6.0)m 改良工 L=550m 舗装工 L=550m 測定 1式 用地補償 1式	H20末進捗率：約74% (事業費ベース) (年平均進捗率 8%) ○用地補償は7割完了	・交通量の推移 H9 1,343台/日(基準) H11 1,527台/日(1.14) H17 1,017台/日(0.76) 当該事業は平成21年度に認定された小城市の中心市街地活性化基本計画に関連する事業である。	事業採択時と比較して大きな要因の変化は見られない。 B/C=1.8	(コスト削減) ・再生資材の利用促進を図っている。 ・工事で発生する残土を盛土等に流用する。 (代替案の検討) ・特になし	事業採択後10年経過のため再評価	継続 (理由) 事業の必要性に変化が無い。 現在も、依然として交通の円滑化と交通安全の確保が出来ていないことから、引き続き事業を継続したい。
	現時点	道路整備交付金事業 (防災・安全交付金) 主要地方道 小城富士線 事業主体：県 事業地：小城市 小城町上町横町	同上	全体事業費：11.5億円 工期：H12～H27 事業内容 延長 L=550m 幅員 W=16.0(6.0)m 改良工 L=550m 舗装工 L=550m 測定 1式 用地補償 1式	H25末進捗率：約87% (事業費ベース) (年平均進捗率 6%) ○用地補償は9割完了	・交通量の推移 H9 1,343台/日(基準) H11 1,527台/日(1.14) H17 1,017台/日(0.76) H22 853台/日(0.64) 交通量は減少傾向にあるが、H29年度に供用が予定される小城PAスマートインターチェンジ(仮称)の供用後には、交通量の増加が見込まれる。 当該事業は平成21年度に認定された小城市の中心市街地活性化基本計画に関連する事業である。	事業採択時と比較して大きな要因の変化は見られない。 B/C=1.7	(コスト削減) ・再生資材の利用促進を図っている。 ・工事で発生する残土を盛土等に流用する。 (代替案の検討) ・特になし	再評価実施後5年経過のため再評価	継続 (理由) 事業の必要性に変化が無い。 現在も、依然として交通の円滑化と交通安全の確保が出来ていないことから、引き続き事業を継続したい。
	理由等				・構造物(水路)の設計見直しに伴う工事費の減。 ・工期は用地取得の遅れから2年延伸した。					

